

## 折しも夢のなかで

折しも夢の中で 飛んでる空から  
急に落ちてゆき ぶつかる前で目覚めた

高いところから 両手を広げて  
勢いをつけて 前を向いたなら  
向かい風に乗る 知らない間に  
空を飛んでいる 夢をよく見る

晴れていた空が 白くなってきて  
冷たい雫が 顔にあたってくる  
鳥たちが飛ぶのを 見ていただけでは  
これほどの辛さが わからなかった

山の斜面から 両手を広げて  
太陽背にして 影を追うように  
噴き上がる風を 味方にしながら  
ゆっくり飛び立つ 夢をよく見る

暖かい風が 少しずつ冷めて  
最後には 寒くて耐えられなくなる  
鳥たちが飛ぶのを 見ていただけでは  
これほどの辛さが わからなかった

折しも夢の中で 飛んでる空から  
急に落ちてゆき ぶつかる前で目覚めた

## きっとあてはある

気分がすぐれない  
巢ごもりだけでは  
ああそうだ何にも持たないで  
トボトボ歩いてみようか  
カード1枚だけで  
地図もモバイルもなく  
電車に乗り歩くだけで

徘徊だなんて言われている人たちも  
おそらくこんな気持ちなんだろう

きっとあてはある  
なくしたはずのもの  
信じられることができなくて  
ゆっくりと歩いて  
自分のこの目で  
探して確かめることできるまでは

ずっと前はよかった  
そんな思いが募り  
ああそうだ今ある現実との  
ギャップが耐えられなくて  
明日を夢見ること  
希望を持つことさえも  
全て奪われたようだ

徘徊だなんて言われている人たちも  
おそらく何かを探してるんだろう

きっとあてはある  
すでになくなったと  
信じられることができなくて  
ゆっくりと歩いて  
しっかり踏み締めて  
探して確かめることができるまでは

気分がすぐれない  
巢ごもりだけでは  
ああそうだ何にも持たないで  
トボトボ歩いてみようか  
カード1枚だけで  
地図もモバイルもなく  
電車に乗り歩くだけで

## 逃げてゆくのもって

ここには私がいるべき場所はない  
今さら頑張り続けたところで

少しも良くなならない  
居づらさあるだけで  
関わる人ともうまくいかない

抱えきれぬ悩みから解放されたくて  
この先のことが見えなくなった時

休みたい気持ち強くなった頃から  
最後の手段のひとつとして

逃げてゆくのもって悪いことでない  
「ここしかいられない」  
思い込んでるだけで  
自分で縛った責任感だけで  
周りはそれほど思っていないに違いない

今あるイザコザ解決するよりは  
全てを投げ出して任せるだけでいい

いなくなった後の気まずさなんて  
想像する意味あるのか

消えてしまいたいと思った時には  
口にもできないで気が滅入るだけで  
そのうち疲れて動けなくなるより  
逃げたその先を考える方がいいかも

逃げてゆくのもって悪いことでない  
「ここしかいられない」  
思い込んでるだけで  
自分で縛った責任感だけで  
周りはそれほど思っていないに違いない

## ろうそくのあかり

炎を見ていると昔を思い出す  
ほんのり暖かい穏やかなあかりで

それまで暗かった部屋の中だけでなく  
沈んだ気持ちもふっと和らげる

心が疲れて荒んでしまっても  
どうにか明日を迎えられるようだ

やり場のなかった見つめるところまで  
燃えるその中に視点与えてくれる

ギクシャクしている二人の会話ですら  
目を合わさないで話しやすくなる

ろうそくのあかり映し出すものの全てが  
自分の顔でさえ優しく見えている

影のうつろいお互い眺めては  
存在感のゆるぎの中に

## 言えないまま

素直に言えないまま  
二度と会えなくなる  
感謝の言葉さえも  
まさかの旅立ちで

いつも気にかけてくれたのに  
ただの干渉と捉えていた  
今こうして振り返れば  
感謝の一言が言えなかった

自分があなたの立場になって  
やっとわかることになるなんて  
あなたがそこまで考えてたことが  
いなくなった時にやっとわかるなんて

なぜに気づくことが今までできなかつた  
ありがとうの一言を伝えるだけなのに

いつも囁いてくれたのに  
大して気にもしてなかった  
今こうして思い返せば  
自分のことしか考えなかった

思えばいつでも言い合いばかりで  
意地を張っていただけのことだった  
あなたがそこにいつもいた日々が  
かけがえのないことだったとわかるなんて

なぜに気づくことが今までできなかつた  
ありがとうの一言を伝えるだけなのに

素直に言えないまま  
二度と会えなくなる  
感謝の言葉さえも  
まさかの旅立ちで

## つらさの向こうに

朝が来る前の薄暗さはやがてなくなる  
ガマンして待てば眩しいほどの  
オレンジの光がさしてくる

抱えきれないほどのことばかりで  
何もみえない  
やりたくなくても辛さの向こうに  
行くことだけを信じて

だから今はただ時が経つのを待っていよう  
流れるものは流してすべて枯れてゆくまで

辛さをのりこえた向こうには幸せがある  
辛いという字が帽子をかぶれば  
幸せという字になる

確かなもの何もないけれど信じているよ  
複雑なことはいつかほどけてゆくことを

幸せの前の辛いことはやがてなくなる  
ガマンして待てばシビれるほどの  
喜びが込み上げてくる